

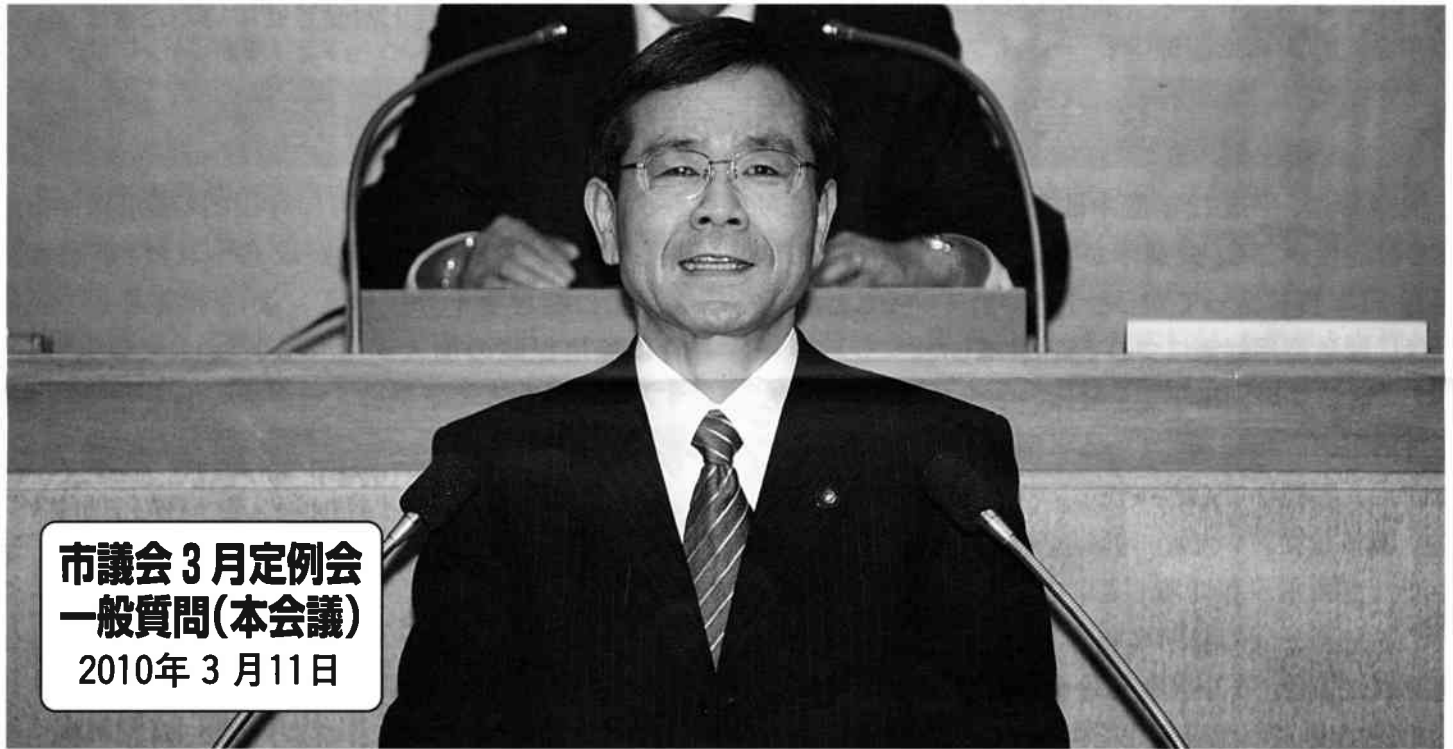
むら いし
村石あつし
富山市議会活動報告



2010年4・5月

No. 4

発行責任者
富山市議会社民党議員会
村石あつし



**市議会3月定例会
一般質問(本会議)**
2010年3月11日

皆さまへのごあいさつ

多くの皆さまのご支援とご協力を賜わり、市議会に送っていただいていた私の市議会活動は、早いもので1年となりました。

振り返ってみますと、昨年6月定例会では「乳幼児医療費助成は、入院費について小学校6年生まで拡大(実施は10月より)」となり、私の公約が一步前進しました。しかし、お年寄りが、入院を続けながらリハビリを受けたくても、ベッドを空けるために退院を迫られたり、特別養護老人ホームに入所を申し込んでも待機者が多いために入所できなかつたりして、家族の負担が大変になっている状況は改善されていません。

少しずつですが寄せられる地域の団体や市民のみなさんからの要望や意見をお伺いして調査をし、私は、所管の課に要望したり、常任委員会などで質問したりしてきました。中には要望した土木工事が実施されたものもありました。また、市民の皆さまのご意見によりこれまでの事業が見直されることもありました。

今3月定例会では、今後の事業内容や平成22年度の予算付けが示されました。その中には、今年の衆議院選挙での政権交代による「子ども手当支給事

業」などの新規事業がある一方で、国の税収の落ち込みにより市が計画していた学校耐震化の事業の一部が先送りされるなどの影響が出ています。

私は、皆さまの声に耳をかたむけ、皆さまの代弁者として、「いのちとくらしを大切に、活力ある富山市を」つくるという初心を忘れずに、誠心誠意努力する所存です。市民の皆さま、どうかよろしく願い申し上げます。

老田小学校改築事業 平成22年度予算付けなし

実施設計を終えている老田小学校改築事業については、国の学校建設費の縮減により、平成22年度の予算付けは見送られ、平成23年度以降の事業となった。

呉羽ハイツの地すべりについて

敷地内での地すべり(2月11日)については、地質調査と応急工事は3月から開始され、恒久工事は、県・市・呉羽ハイツ・業者による対策会議で協議される。

呉羽梨選果整備事業について

呉羽梨のブランド力を強化し果樹の生産振興を図るために、総事業費約9億円の内、約9千万円が市の一般財源から支出されることとなった。

市議会3月定例会 村石あつし一般質問(本会議)

質問項目 (3月11日 一般質問)

- 1 緊急雇用対策について(2頁)
- 2 お年寄りや障害者にやさしいまちづくりについて(3頁)
- 3 富山駅周辺地区土地区画整理事業について(2・3頁)
- 4 富山大和跡地再開発について(4頁)
- 5 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現について(※紙面の都合上割愛させていただきます)

緊急雇用対策について

失業率は、平成22年度中は5%台前半で高止まりする可能性が高く、失業率が明確に低下し始めるのは平成23年度に入ってからと予想されていることから、私は、緊急雇用対策について質問しました。

問 「緊急雇用創出事業」全体の中で、臨時職員として富山市が直接雇用している事例は、実際にあるのでしょうか、お聞かせください。

答 新年度においては、「緊急雇用創出事業」全体の中で、富山市が臨時職員として直接雇用する事例として、(1)生活保護の補助事務、(2)予防接種の相談窓口業務、(3)安全・安心な学校給食の調理支援業務など、19事業で69人の新規雇用を図ることとしている。また、21年度から23年度までの3ヵ年では、192人の新規雇用を見込んでいる。

問 平成22年4月1日から雇用保険の適用範囲が拡大されることから、「緊急雇用創出事業」の委託先の事業主に対し、周知する必要があると考えるがどうか。

答 国においては、現下の厳しい雇用情勢を踏まえ、現在の雇用保険の適用基準である「6カ月以上雇用見込み」を、本年4月1日から「31日以上雇用見込み」に緩和すること等を内容とする雇用保険法等改正案を提出され、現在、審議されている。

本市の「緊急雇用創出事業」においては、これまで

も6カ月以上雇用される方に対しては雇用保険を適用しており、今後、改正案が成立すれば、事業担当課にこの趣旨を十分に伝え、委託事業主との契約時に雇用保険の加入が漏れなく行われるよう、周知する考えである。

平成21・22年度 緊急雇用創出事業及びふるさと雇用再生特別交付金事業について

項目	事業数	事業費	新規雇用者数
(1) ふるさと雇用再生特別交付金	41	300,855千円	87人
(2) 緊急雇用創出事業	100	499,571千円	362人
合計	141	800,426千円	449人

富山駅周辺地区土

富山市は、富山駅周辺地区土地区画整理事業の一環として、平成23年度からは富山駅南口広場整備に着手することから、富山ステーションデパートを取り壊す予定と聞いています。ステーションデパートの中には、富山駅特選館として飲食店8店、銘菓・食料品店47店、構内店3店の合計58店があり、約170人が働いています。

私は、仮店舗の建設について質問しました。

問 富山駅南口仮駅舎の近くに仮店舗を建設し、新しい駅舎ができるまで営業を続けることができるよう配慮してはどうか。

答 北陸新幹線開業時までに、富山駅南口広場を完成するためには、その開業時の約2年前までに富山駅ビルの取り壊しを終える必要があることから、富山駅ビル内のテナントには、平成24年度の初め頃までに、移転していただく予定としている。

富山駅ビル内の商業施設は、仮店舗の設置も含めて本

富山新聞 2010年3月12日

シルバー人材へ入会案内

高齢者雇用相談室で

市側は、新年度に市役所内で高齢者の職業相談を受け付ける「高齢者職業相談室」の開設を継続する形で、現在、実施している職業のあつせ情報提供や相談業務に加え、新たに市シルバー人材センターの入会案内や仕事内容の相談、就業情報の提供、仕事依頼の受け付けなどを行う。

村石篤氏(社民)の質問に、坂井保樹商工労働部長が答えた。

「市高齢者雇用相談室」は、政府の事業仕分けでの評決を受け今年度で廃止となることに対応できる「ワンストップサービス」が実現できるよう、事前研修に当たったと述べた。

お年寄りや障害者にやさしいまちづくりについて

富山市高齢者総合福祉プランでは、「安心・安全を実感できる、人にやさしい生活環境づくりとして、バリアフリーのまちづくり、ユニバーサルデザインを意識した生活空間づくりを推進します」としています。杖や歩行器、車イスなどを利用しないと生活の中で必要な外出時の移動が困難な皆さんは、「日常的な外出の困りごと」として、「交通機関が利用できない」と答えています。また、外出を増やしたいものとしては、「遠出の行楽」「外食・映画・ショッピング」としていることから、環状線の電停の整備などを求めました。

問 環状線すべての電停で、車いすでの利用ができるよう、計画的に整備してはどうでしょうか。また、富山駅前と県庁前電停を早急に整備する必要があると考えるがどうか。

答 既存電停を車いすの乗降を可能にするためには、

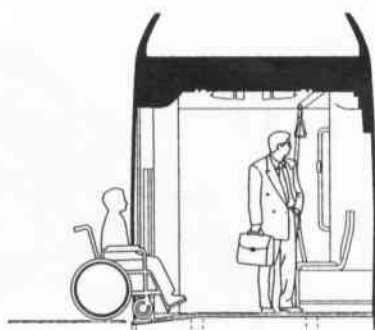


電停の幅が狭いため、車イスを回転させて乗車できない電停(県庁前)

- ①既存電停の拡幅が必要であり、現状の道路幅員を狭めることとなるため、道路管理者の同意が必要である。
- ②電停拡幅や道路改良に伴い交通管理者や地元住民との協議が必要である——等の課題があり、施設を保有し、電車を運行する富山地方鉄道(株)が主体となって関係機関と協議を進めていく必要がある。

既存電停の整備につきましては、長期的にその優先順位も含めて富山地方鉄道(株)に働きかけていく考えである。

問 今後、建設される市の施設や公共の人々が使用する施設については、車いす対応トイレを男性と女性とに分けて設置するようにしてはどうか。



環状線のセントラムは100%低床の車内

答 施設の規模や用途、利用状況を考慮して、市では、ファミリーパーク自然体験センターや障害者福祉プラザ等において、男性と女性を区別した多目的トイレを設置しており、今年度発注の富山市複合

福祉施設にも設置する予定である。今後、建設する公共施設についても、利用者の状況に応じて、設置を検討する考えである。

地区画整理事業について

来的には「西日本旅客鉄道株式会社」が対応を検討されることになるが、今後、市としても「西日本旅客鉄道株式会社」、「株式会社富山ステーションデパート」と補償交渉を行う中で、協議していきたいと考えている。



平成24年度に取り壊しが予定されている富山ステーションデパート

村石氏 セントラムのいすでも使えるようにしてほしい。
野村都市整備部長 電停の拡幅が必要のため簡単ではないが、運行する富山地铁に働き掛けていく。
男性職員に育児休業取得を勧めてはどうか。

老月企画管理部長 取得率5%を目標に周知を図っており、21年度に初めて取得したケースがあった。

村石 篤氏
(社民)



北日本新聞 2010年3月12日

